阿知須町広報

昭和39年8月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
印刷 宇部新聞印刷所

No.154 この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

今月の納税は
町県民税第2期分
国民健康保険税第4期分
国民年金料8月分

看護婦の就職あっせん相談は町厚生課へ

山口保健所では看護婦の資格をもち、現在家庭においでる方で就職を希望される方の就職あっせんをしていますので、ご希望の方は町厚生課にお申出下さい。

知事選挙は9月6日投票日です

任期満了にともなう知事選挙は8月12日の告示で始まり9月6日（日曜日）が投票日の予定です。

これから4年間私たちに代って県政を行う人を選ぶ大切な選挙です。私たち有権者のたれしもが切望する明るい県政は、ひいていえば明るい町政へと反映し私たちの台所へと還元されます。

投票日が近づくにつれて街頭では各候補者が街頭演説にしのぎを削って私たちの一票をねらいますが私たち有権者は本当にこの人なら政治が任せられるという人を自分で決め、悔のない投票をしましょう。

ではこれから先、知事選挙における町選管の事務日程をお知らせいたします。

8月12日、選挙期日の告示この日から候補者の受付を行います。また9月6日に不在の方で投票できない方の不在者投票の開始です。

8月20日 補充選挙人名簿調製現在期日、この日が住所要件、年令の基準となります。

8月21日～25日 補充選挙人名簿登録申請期間 選挙人名簿には毎年9月15日現在で調製する基本選挙人名簿と選挙ごとに調製する補充選挙人名簿とがありますが、このいずれかの名簿に登載されていないと選挙権はあっても投票できないことになっています。今回の選挙には昨年調製した基本選挙人名簿と昨年11月1日現在で調製した補充選挙人名簿（参院選）と昨年12月30日現在で調製した補充選挙人名簿（町長選挙）と8月20日現在で調製する補充選挙名簿を使用しますので本町に3カ月以上住んでおられ、8月20日現在で満20才になられる方で入場券の届かない方は申請の手続きをする必要があります。

8月25日 立会演説会 阿知須小学校講堂において、午後1時30分から立候補者の立会演説会を行ないますので多数ご聴講願います。

8月29日～31日 補充選挙人名簿縦覧期間 この期間内に補充申請された方はご自由にご覧下さい。

9月6日 投票日午前7時から午後6時までです。即日開票で午後7時30分からです

私の一票は私とみんなの幸せに

みんなで町章を作ろう

海に山に大きく前進している本町には残念ながら町のシンボルである町章がありません。そこで次の要項により町章を募集いたしますので、ふるってご応募下さい。

締切期日 昭和39年9月15日
規格 官制ハガキの大きさで上半分に図案、下半分に簡単な説明書、色彩一色です
賞品 入選1万円ほか佳作にも賞品あり。
あて先 町役場総務課 発表、10月号町広報

相続税の申告と納税

ことしの税改正で相続税についても遺産にかかる基礎控除が引き上げられて、2百50万円（従来は2百万円）と相続人1人につき50万円の合計額となりました。

この改正は本年1月1日以後の相続などによって取得する財産について適用されます。また適用になる財産の評価基準もすでに定められていますが、相続税の申告は相続開始時から6カ月以内にすることになっています。

一般特別会計補正予算など 8議案を可決

国民健康保険の税率決る

7月町議会から

★ 第3回定例町議会は、さる7月14日午前9時から町議会議場において行なわれ、昭和39年度阿知須町一般会計歳入歳出補正予算など8議案が慎重に審議された結果全案が原案どおり決定されました。なお当日決定された議案の内容は次のとおりです。 ★

★議案第38号、専決処分を報告し承認を求めることについて…これは阿知須町税賦課徴収条例の一部改正と阿知須町国民健康保険税条例一部改正ですが、町民税については来年度から全国統一税、いわゆる「本文方式」になりますが、その中間の年に当ることしは「経過措置方式」を採用したため所得割の納税義務者が青色専従者給与額の支給を受ける者または事業専従者を有する場合においては当該専従者給与額の支給を受けるもの1人について1千6百円（従来は1千2百円）に、また当該事業専従者1人について千円（従来は8百円）の税額控除をすること。

国民健康保険税もことしは所得割1.1を1.5に資産割6.1を7.7に被保険者均等割5百円を7百円に、世帯別平等割7百円を9百50円に専決処分したためその承認を求めることです。

★議案第39号、寄付を受けることについて、三好正之氏から幻灯映写機を井関小学校備品として寄付するむねの寄付願いがだされ、これを採用すること。

★議案第40号、阿知須町固定資産評価員選任について、人事移動の関係で税務課長である砂村好恵氏を新たに固定資産評価員に選任すること。

★議案第41号、阿知須町固定資産評価審査委員の選任について、固定資産評価審査員（1名）が任期満了となったため、山野新一氏を再任すること。

阿知須町消防団退職手当表

（単位円）

勤務年数 階級	10以上15年未満（1カ年につき）	5年以上10年未満（1カ年につき）	5年未満（1カ年につき）
団長	3,000	2,500	2,000
副団長	2,500	2,000	1,500
分団長 部長 班長	2,000	1,500	1.000
団員	1,500	1,000	500

★議案第42号、阿知須町消防団条例一部改正について…消防団員が退職した場合、今までは在職10年以上の者2千円、在職10年未満の者1千円であったのを前表のように改めること。

★議案第43号、昭和39年度阿知須町一般会計補正（第1回）について 歳入、歳出ともそれぞれ5百24万4千円の補正をしましたが、その内容は次のとおりです。

歳入の部では地方交付税の3百17万円、分担金及び負担金に百53万円、前年度繰越金が14万円がおもなものです。

歳出では**総務費**に59万8千円。これは交際費に30万円、三輪及びジープ購入に12万円などです。

民生費に3百69万円ですが、三度巻の橋梁新設工事と道路改良工事に2百7万円、公有財産購入費に43万円ですが、これは当初予算では農林水産業費に予算化されていたものです。

衛生費は19万円ですがこれには小古郷と鴨生原各一カ所づつ、じん芥捨場新設にあてる5万円などがおもなものです。

上水道費では百69万円を簡易水道特別会計に繰出しました。従って上水道費では予算額はゼロになったわけです。

農林水産業費では前記のとおり三度巻の農道整備百20万円を民生費に。万年取付道路側溝に19万円がおもに予算化されたものです。したがって農地費の予算額は当初予算額に比べて98万円減です。

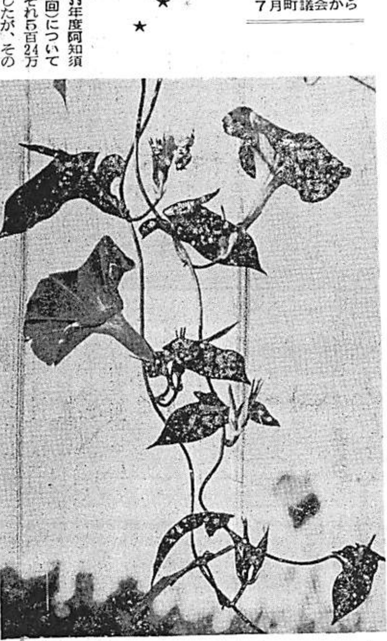
土木費では百82万円のうち須田踏切付替道路に百53万円が主なものです。

★議案第44号 昭和39年度阿知須町国民健康保険事業特別会計予算補正について 歳出では国民健康保険税で62万円、国庫支出金で39万円、繰越金44万円がおもなものです。

歳出の部では保険給付費に百36万円を補正し、歳入、歳出とも百45万1千円を補正されました。

★議案第45号 昭和39年度阿知須簡易水道事業特別会計予算補正について 第2回臨時町議会で一般会計から百25万9千円を繰入、このたびの定例会でも43万1千円を一般会計から繰入れました。したがって歳入歳出予算の総額はそれぞれ4千2百23万8千円となりました。

歳出では建設費に75万8千円がおもなものですが予備費35万2千円を減じました。



続々温い援助の手

新潟地震義援金11万余円を送る

さる6月16日午後1時2分、関東大震災にひってきする大地震が新潟地方を中心に突如起り、大ぜいの方々が被害をうけました。このニュースを聞いて町内の方々の温い援助の手が続々とさしのべられ7月15日現在で次の方々や部落から現金11万6千2百55円という多額の義援金が寄せられました

町厚生課ではさっそく日赤山口県支部を通じて、被害者の方々にお届けいたしました。

▽新潟地震義援金

▽新井宗隆、3千円、▽青年同志会、2千円、▽同仁病院職員一同5千円、▽阿知須小学校、百円、▽小東、1千4百50円、▽小西、2千4百30円、▽小南、2千5百60円、▽北祝、2千7百30円、▽南祝、2千6百50円、▽恵比須、4千2百25円、▽築地、3千6百円、▽東、3千8百30円、▽縄南4千9百10円、▽縄北、5千3百80円、▽中村、3千4百円、▽西条、4千百80円、▽寺河内、2千5百円、▽浜、1万8百20円、▽砂一、4千6百50円、▽砂二、2千4百10円、▽砂三、5千5百40円、▽飛石、4千4百60円、▽岩西、2千4百50円、▽岩西前、2千3百50円、▽岩辻、3千7百10円、▽岩上、1千4百80円、▽旦東、1千8百円、▽旦西、2百円▽旦北、1千7百50円、▽旦円松8百70円、▽岡、7百80円、▽浜表、3千6百50円、▽赤迫、2千百円、▽井関、1千5百60円、▽杖川、8百円、▽河内、2千百円▽向井関、4百円、▽引野、2千3百80円、▽源河、2千9百50円▽町消防団、3千円

8月のこよみ

陰暦の8月のことを「はつき」といいますが、この「はつき」の意味は「8月の葉もみちて落ちるゆえに葉落月（はおちつき）という」のからきたという説があります。またいねの穂が満ち張る月という意味がちぢまって「はつき」となったと伝えられています。

さて7月のなかばから8月のなかばにかけて暑さの絶頂ですが、こよみの上では7日は立秋です。千日草、朝顔、はす、ききょうなどが咲くうちに朝晩ふっと秋の気配を感じさせるきょうこのごろです。

6日は広島の原爆記念日、9日は長崎の原爆記念日、14日は旧7月7日、たなばたにあたり、15日は終戦記念日、22日は旧ぼんで、このごろになると朝夕めっきり涼しくなり秋風がやわらかく、ハダに感じるようになります。

国旗を掲揚しよう

さる6月県議会定例会において毎日【日曜日（祝日を除く）ならび1月2日および3日並びに12月29日から31日までを除く】午前8時30分から午後5時まで（土曜日は正午）県庁の各出先機関に国旗を掲揚することを決議しましたのでお知らせいたします。

山口県職員の試験が行なわれます

山口県職員採用中級、初級および市町村立小・中学校事務職員の採用試験が次の要項により実施されますのでお知らせします。

【中級】…保母（50名）衛生検査技師（10名）【初級】…事務（130名）土木（15名）農業、林業、農業土木、建築、電気、機械、水産化学（若干名）【小中学校初級】事務（10名）

試験日時、場所
①日時 昭和39年9月13日
②場所 県立山口高等学校、県立宇部商業高等学校ほか4地区で行なわれます。

受付期期 昭和39年8月1日から9月5日まで、なお詳細は町役場総務課までお問合せ下さい。

暴力をなくし住みよい町に

人権擁護委員連合会総会で

さる6月27日宇部市商工会議所において第13回山口県人権擁護委員連合会が行なわれました。

総会におたり同会は、私たちの町から暴力をなくし、明るい社会住みよい社会を作ろうと次のような宣言をいたしました。

宣言

人命の尊重と暴力の否定は、国民の人権保障上もっとも基本的な要請である。

しかしながら、これが広く国民の間で実際に手についたものとなるためには、右の基本的な要請に応えるよう、さらに強く日常不断の活動を積み重ねて行く必要を痛感する。とくに近時の風潮にかんがみ、われわれ人権擁護委員は一層その使命に徹し、人命軽視の是正と有形、無形を問わず、一切の暴力の徹底的排除のため努力する決意を新たにし、広く国民の協力を期待するものである。

第13回総会にあたり右宣言する

山口県人権擁護委員会連合会

なお本町では江本悦蔵さんが人権擁護委員ですので、法律的なこと、や家庭的なこと、その他お困りのある方はご相談に応じていただけます。

なお相談料は無料ですし、秘密は厳重されますのでお気軽にご相談下さい。

児童相談（無料）のお知らせ

子どもの幸せを高め、すこやかに育てるために阿知須町社会福祉協議会、山口中央児童相談所では次のとおりの巡回児童相談所を実施します。

◎相談内容

子どものしつけ、遊び、わがままや反抗などの相談、子どもの能力や性格、家庭学習のあり方などの相談、その他子どもを幸せにするための相談などを行います。

◎場所 町立砂合保育園
◎日時 8月12日、午前9時30分から午後3時まで。

本町農業史上
初の空中防除

各種産業の基盤である農業も時代の波にのり、日ごとにその様相をていしつつあります。

「ヘリコプターによる農作業」つい最近まで夢のような話しでしたが、農業の機械化いわゆる農業の近代化が叫ばれている今日では、航空防除は農業の先駆的事業として、大きく注目を浴び各地でこの方法が取り入れられて、柑橘、水稲などの防除に大きな役割をしています。

本町も、7月16日、17日の2日間、航空機による空中防除を実施いたしました。実施した地域は井関川流域と土路石川流域約200ヘクタールですが、風のない朝間を利用したため、両日とも晴天無風で絶好の防除びよりに恵まれ、その効果も予想以上でした。

人間1人が1ヘクタールの田を薬剤散布すれば、3～4時間はかかりますが、まさに驚異わずか12時間たらずで200ヘクタールの広域の防除をなし、〝やはり機械化だなあー〟という感を強くいだかせ、最近の農家の人手不足、また長時間労働の問題などに悩まされているだけに、関係者の間でも大変な好評でした。

空中防除はまだ数多くの問題が残されていますが、これは時代の要請であり、この、諸問題は日ごとに改善されて、航空機の利用はますます実用化しその利用度は年ごとに増して、農業にも航空機時代がおとずれるのも間近なことでしょう。

江本昇さん（縄南）
射撃大会で入賞

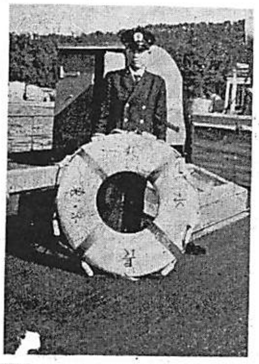
陸上自衛隊西部方面小火器射撃大会が、さる6月18月、19日の両日福岡県福岡射場において行なわれました。

この大会に本町出身の江本昇さん（24才、陸士長）が連隊代表選手の一員として出場し、個人戦において自動銃の部で堂々と入賞の栄を勝ち取り、西部方面総監から賞状を授与される輝しい成績を収められました。

これもひとえに江本さんが幾多の困難を克服し日夜努力を重ねた末、この輝しい成績が生れたのでしょう。

ここに紙上をもって県外にでられて日夜精進されている本町出身者の輝しい成績の一端をお知らせいたします。

松代二郎さん（砂一） 叶谷敏助さん（中村） 小林菊市さん（小南）
優良船員として大臣表彰に輝く



写真は㊤松代二郎さんご夫妻㊥叶谷敏助さん ㊦小林菊市さんご夫妻

さる7月20日、第24回海の記念日にあたり松代二郎（60才）さん、叶谷敏助（55才）さん、小林菊市（58才）さんの3人は永年勤続優良船員として、はえある運輸大臣表彰を受けられました。

紺碧の海と共に生き抜かれた3人の顔は、さすがに黒くいかにも〝海の男〟という感じがする。

松代さんは、大正7年に乗船、戦前は千島列島方面のタンカ船で活躍され、戦後は同栄運輸KKの城南丸船長として貨物の運搬に努められ、ことし3月に定年退職されました。

叶谷さんは、はじめ関釜連絡船（関門～釜山間）に乗船され、そして昭和17年に関門国道トンネルが開通するまでは、本州と九州を結ぶただ一つの連絡船である関門連絡船に36年間も勤務され活躍されています。

小林菊市さんは新和海運KKに勤務されていますが、大正10年に乗船されて以来、外国航路のタンカ船として遠く東南アジア方面に出向われて活躍されています。

この3人の方々はいずれも戦争という悲劇の中で生き抜かれ、いくたの困難を乗り越えられて、運輸という難しい仕事にたずさわれた功績は末長く称賛されることでしょう。

健民運動を生活の中に 環境衛生推進委員決る

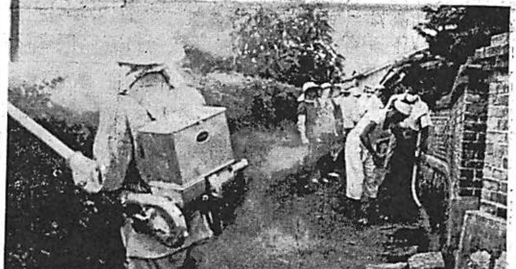
昨年の国体で大成功を納めた健民運動をさらに長く続け、私たちの生活の中に取入れて、私たちの町を村を美しく住みよくしょうとことしから新らしく各市町村に環境衛生推進委員が生まれ、本町もさる7月23日、12人の委員の方々の伝達式が行われました。

縄田南区、砂二区の2地区では山口県環境衛生推進協議会、および山口環境衛生推進協議会（山口市、秋穂、小郡、阿知須からなる）に加入し、地域ぐるみで積極的に蚊やハエなどの衛生害虫を駆除しまた清掃など環境美化に努めて着々とその成果をあげていますが、鴨生原、東条、砂一などの地区においても、こうした機運が高まりつつあります。

本町の委員は次の方々ですが、地域における組織活動の促進や環境衛生と日常生活のつながり、地域における清掃美化活動の推進と巡回調査、その他環境衛生推進に必要な事項などを指導されますが私たちの生活環境をより以上向上させるには、1家だけでなく地区ぐるみ、いわゆる広範囲に環境衛生活動を行なってこそ、この活動の成果があがり私たちの生活の中に取入れることができるのではないでしょうか。

この委員の方々を中心に明るく住みよい生活環境を作りだし、美しい阿知須町にしたいものです。

縄中房一（小東） 古田隆助（東）
沢田和男（北祝） 中野康次（縄南）
中田光人（西条） 平岩長松（砂二）
松井敬一（浜） 上野ナカ（岩上）
藤井富男（円松） 原田計之進（引野）
福岡ユミ（浜表） 片山宥賢（河内）



写真は鴨生原地区にて

58回 短歌会作品 （順不同）

河崎 幾代
雨止みてむし暑き日暮の軒の下巣をつくる蜘蛛上り下りする

兼重 きぬ
刺あらく常は疎みしシャボテンに今朝珍らしく赤き花見つ

原田 陽子
かやの中に暑さ残れる明方をかど田に蛙の鳴く声聞きゆ

砂村 ヤス子
車窓より見ゆる小倉よ雨けぶり海は遠くに白く波立つ

上重 朝子
病める子を見舞ひ来れば芝草の清きこの丘に癒えゆく早し

藤永 ミツノ
はすの葉にのりし水玉ころころところがる傍に刻は過ぎゆく

田村 艶子
干拓の騒音いまはおとろへて今日の暑さに人影少なし

慶弔録

出生

おめでとうございます
ご健康を祈ります

西村 安則	長男	務	砂二
国重善次郎	長女	つぶら	浜
田辺 忠志	長女	英子	岩西
弘中 得男	長男	克己	築地
藤本 義人	長女	佳子	旦東
重田 昌則	二男	雄二	旦東
秋枝 一幸	長女	佳子	西条
国重 坦	二男	学	向井関
深野 千行	二女	いずみ	小西
吉本 政夫	長女	育美	小南

死亡

おくやみ申し上げます

北山利三郎	7月9日	63	砂三
松原 智志	7月22日	1	北祝

タバコは ぜひ町内で 買いましょう

お盆も近づきましたが、平素親しまれているタバコは勿論のこと贈答用のタバコはぜひ町内のタバコ店で買いましょう。

本町にはタバコ消費税として1年間に3百27万1千円ありますが愛煙家のチョットした心づかいによって町収入の財源が大きく左右されます。

健康な夏休みを

氷水ののみすぎや、アイスキャンデー、アイスクリームのたべすぎで、おなかをこわすことの多い時期です。ポリオも予防接種や生ワクチンの服用などで患者も少なくなったようですが、まだまだ十分注意がいります。日本脳炎にもきびしい警戒心をはらって下さい。学童の耳、鼻、目、歯など根気のいる治療は、この夏休み中にぜひ完全に治しておきましょう。

夏休みも半ばすぎると、生活にも気のゆるみがでやすいものです。食中毒にみまわれたり、日射病にかかったり、しつこい湿疹にかかったりします。これは体の抵抗力が弱まるからです。疲れすぎないこと、食事に気をつけることが第一です。

第14回 町内野球大会 和気あいあいのうちに終る
小古郷チーム4年ぶり優勝

町内野球も迎えてことしは14回目、ことしも雨で一週間延期された7月26日、阿中校グランドにおいて12チーム参加のもと熱戦が繰り広げられました。

前年度優勝チーム寺浜部落から優勝旗が返還されて、真夏の太陽を背にしながらA・B2会場において各選手の好プレー、好ゲームが展開され、なかでも縄田チーム対阿中校チームの試合では4対4で時間切れとなり抽せんの結果阿中校の抽せん勝となるなど応援席をわかせました。

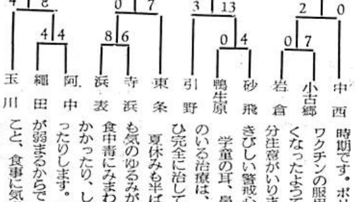
ベスト4には阿中校チーム、東条チーム、砂飛チーム、小古郷チームが勝ち残り、阿中校対東条は2点をリードした東条が最終回阿中校の反撃を1点に押えて辛勝。小古郷対砂飛は小古郷が1回一挙に5点を奪いそのまま逃げ切りました。

優勝戦では岡村投手を擁する東条チーム対第10回大会に優勝して以来3年連続優勝戦で涙をのんでいる小古郷チームの間で雌雄が決っせられ、岡村投手対小古郷打線に興味が注がれましたが、4回表敵失、4球などで無死満塁の好機に橋本幸治選手が左越の3塁打、続く縄本義男選手の適時打で計4点、5回にもだめ押の2点を奪い4年ぶりに優勝しました。

なお個人賞には最優秀選手賞に沖永一夫選手（小古郷）敢闘賞には岡村久寿男選手がそれぞれ選ばれました。

小古郷	0	0	0	4	2	0	0	6
東条	0	0	0	0	0	0	0	0

当日の成績



第10回大会以来4年ぶり、２度目の優勝に輝しく小古郷チームナイン